

緩やかな時間の中で、ふと思う。

僕たちは、

急ぎすぎているのかもしれない。

青空に浮かぶ

月。



人と人の接触を8割減らす世界。

それは、

わたしたちへの挑戦。

わたしたちは、人とのかわりの中で

社会を、人間の世界を築いた。

それができないということは、

『地球が制止する日』

努力の果てに、

日常がかえってくる。

『みなのもの・・・』

籠城は

これまでじゃ』

下関市中学校

全  
学年



再開日

実施 令和2年

5月14日 木曜日



『新しい世界の生活様式』が身について。

洗う姿も美しい。

1





再開の日目は、

ひさしぶりの  
体育館での  
全校集会。



対面式から始まる。



二年、三年が見守る中、  
一年生が拍手に包まれ入場。



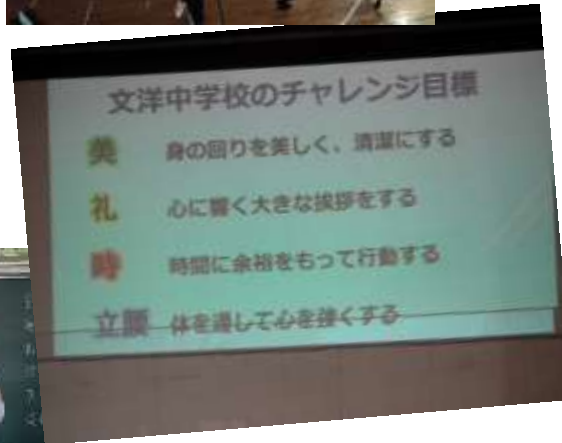
生徒会から、



文洋中のレクチャーがあった。



そして、  
待望の学活。



新しい時間が刻まれていく。



一年生は

学校探訪。



クラスメートの  
顔と顔。

“日常”が少しだけ帰ってきた  
“日常”を守るため  
続けられる努力の中で、

その日。



学校という時間が動き出した。